週7日間、3シフト、5台のImpala

毎年の繁忙期は、プリンタにとっても従業員-にとっても試金石となります。

CEWE Stiftung & Co. KGaA,
ドイツ。ヨーロッパ最大のフォトプリント会社も、2011年以降、-
ワイドフォーマットプリントにおいてswissQprintを頼りにしています。ドイツ-
国内に2ヵ所あるCEWEの制作拠点ではImpalaプリンタが5台使われており、1-
週間休みなしの3交代制となるピーク時であっても、絶対的に信頼できる-
プリンタとして稼働しています

CEWEはヨーロッパ最大のフォトプリント会社で、14の制作拠点に従業員が3,800人-
います。2018年の総売上げは6億5,350万ユーロでした。総売上げの大部分はCEWE-
フォトブックからのもので、CEWEカレンダー、CEWEウォールアート、CEWEカードと共に-
人気の高い商品です。コンシューマー向け各種商品には、フォトギフトや、名入れ可能-
なさまざまなアイテム、懐かしい古い写真のプリントなどがあり、全てCEWEの-
ウェブポータルや販売パートナー経由でオーダーできます。

CEWEウォールアート用Impala

ワイドフォーマットプリントが商品ラインに加わったのは2011年からのことで、swissQprint-のImpalaワイドフォーマットプリンタの導入でCEWEが提供する商品の拡大が始-まりました。キャンバスを手始めに、ほどなくポスター、その後はボードへの直接印刷へと-広がりました。CEWEウォールアートの商品ラインの売上は大きく伸びており、現在では5台-のImpalaプリンタがフル稼働しています。ユーザーは、自分の好きな写真を単独でもしくは-コラージュとして、紙や発泡ボードなどにプリントできます。また、高級アクリルや-ギャラリープリント、自己吸着フィルム、キャンバス、ポスター、あるいは木の板までも選-ぶことができます。規格サイズ以外も豊富で、10x15cmから100 × 150cmまでさまざまな形式があります。CEWEウォールアート商品ラインで最新のものは-hexxasと呼ばれる商品です。六角形の発泡ボードで、サイズは2種類、さまざまなパッケージ-があります。磁石で固定できるため、ユーザーは自分の作品を広々と並べたり、タイル状に-並べ替えたりと、思うままに壁を飾ることができます。

CEWEの最適化のカルチャー

hexxasは、CEWEの社内発明フェアで受賞したことが始まりで、2018年に一般に初めて公開-され、その後商品化されました。CEWEにおける発明と最適化のプロセスは慣行化しており、-オンラインポータルや受発注ソフト、自動化が進んでいる内部ワークフローにも及-んでいます。そのすべてが、オルデンブルクにあるCEWE本社に何百人といる情報技術系の-社員の日常業務です。顧客満足が何より優先され、ユーザーからのフィードバックは改善-プロセスへと直接取り込まれます。CEWEは、人間味ある信頼の文化を作り上げることに熱心-なのです。オルデンブルクでCEWEウォールアートおよびギフト商品製造マネージャーを務-めるジルケ・バイセル氏は、これらの価値を体現しています。勤続歴40年以上の彼女は、絶-え間ない変化と共に突き進むべく担当業務で良い手本となり、全方位的なアプローチを取り-続けています。

初のLEDプリンタがその価値を証明

オルデンブルクにある5台のImpalaの中で最も長く稼働したものが、2018年に新しいUV-プリンタに切り替えられました。新しいUVプリンタは、LED技術やさまざまな機械的な改良-が施されています。5台すべてのプリンタが、透明なメディアにプリントするための-ホワイト・チャンネルを備えています。新しいLEDプリンタによる白色は、特別なヘッドを持-つことで最適化されています。「30plのヘッドがその実力を遺憾なく発揮しています」と、-バイセル氏は熱心に語ります。標準の液滴は、印刷モードによって14もしくは9plです。電力-とインクの消費を抑えて、印刷速度と品質（解像度、階調度、不透明度、演色性、色域）-において優れていることがImpala LEDの基本的な強みで、実践でその能力を発揮しています。電力とインクの消費抑制の次-により大きな強みになっているのが、オゾン排出ゼロと水銀含有物の不使用です。

HexxasはCEWEウォールアートのラインアップで最新の商品。各々に印刷された六角形の-
発泡ボードを組み合わせて一つの大きなグラフィックを形成する。自在に追加・並び替えが-
可能。

「Impala LEDでの作業は特に、オペレーターが喜んで取り組みますし、彼らも満足-
しています」とジルケ・バイセル氏。

完全自動化されたワークフロー

CEWEウォールアートの制作は、標準のメディアを基にしています。個々の注文は自動的に分類されグループ化されます。プリント後、Kongsbergで、最終的な形になるようにカットします。バイセル氏によると「基材を最大限に利用して、捨てる部分を最小限にすることが目的」だといいます。手動での操作は不要で、プリント前工程は自動ワークフローで対応します。プリンタから下流の作業も同様で、繰り返しの作業は可能な限り自動化された機械によって行われます。その一部は、CEWE社内の技術チームによって開発・構築されたものです。例えば、出荷部門へ送る前にポスターを筒状に巻いてスリーブで包む機器などです。

オペレーターの意欲向上

swissQprintのマシンではオペレーターの手を要する作業もまだ当然あります。彼らはその仕事に大きな喜びを感じています。オペレーターにやさしく、使いやすいプリンタだからです。バイセル氏もそのことを十分認識しています。「Impala LEDでの作業は特に、オペレーターが喜んで取り組みますし、彼らも満足しています」。新しいプリンタによって職場に明らかな改善がもたらされています。オルデンブルクにいる社員6名がswissQprintのマシンを使うために訓練されています。「交代で担当することで飽きることなく、注意力を高く保ったまま、エラー率を低く抑えることができるのです」（バイセル氏）。

年末繁忙期に処理能力を証明

11月から12月にかけてが繁忙期で、この時期は工場全体がクリスマス前の注文ラッシュに対応すべく突っ走っている状態のため、毎年のことながら機械的にも人員的にも自身の能力を発揮しなければならない時です。それは、この時期の68週間は休暇取得を凍結、現場の人員を倍に増やし、3交代制にして、さらに12月には週末も稼働することを意味します。

信頼性は決定的な基準

繁忙期に受ける注文は、通常期の45倍のレベルになります。特にこの時期は、すべてが順調に稼働しなければなりません。バイセル氏は「無駄にした日を埋め合わせることはできません」と強調します。

社内の技術者が待機し、swissQprint側の技術者も同様に呼び出しにすぐに対応できるようにしています。「幸いなことに、これまでのところは何事も起きていません。5台のプリンタの信頼性は絶対的です」と、バイセル氏は語ります。これは、CEWEがswissQprintを使い続けることを決めているもう一つの理由でもあります。

会社名	CEWE Stiftung & Co. KGaA ドイツ、オルデンブルク・ ゲルメリング（ミュンヘン近郊）・ フライブルク・メンヒェングラートバッハ
ウェブサイト	www.cewe.de
業種	フォトプリント
創業	1961
従業員数	ヨーロッパ全体=3800人、- オルデンブルク=1100 人
プリンター	4 × Impala / 1 × Impala LED
主要顧客	Amazon, BIPA, Carrefour, Mediamarkt, Migros, Saturnなどによる一 般顧客向け- ワイドフォーマットフォトプリント